

～越後平野における生態系ネットワーク推進協議会 第2回自然環境活用部会～
“WETLAND CITY NIIGATA”の取組みと展望



令和5年3月2日 新潟市 環境政策課 高橋 良

～本日の内容～

1. 湿地自治体認証について

(1) ラムサールCOP14関係

- ・ 認証式
- ・ サイドイベント

(2) これまでの新潟市の取組み

2. 認証後の取組み

(1) 令和4年度

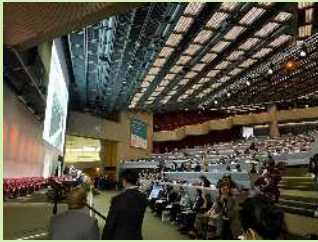
- ・ 「世界湿地の日」および認証記念シンポジウム
- ・ 基調講演
- ・ 事例発表
- ・ パネルディスカッション

(2) 令和5年度の取組み

- ・ ラムサール条約湿地の佐潟等の里潟の環境保全
- ・ WETLAND CITY NIIGATAの国内外へ潟の魅力の発信

1. 湿地自治体認証について

(1) ラムサール条約COP 14 関係



COP14認証式の会場



証書の授与



認証25都市の代表者



サイドイベント1(25都市参加)



サイドイベント2(環境省主催)



環境省展示ブース(会場内)

1.(2) これまでの新潟市の取組み

～①～⑥ サイドイベントでのプレゼンテーション概要～

①新潟市の湿地の変遷



①戦国時代(左)：無数に存在



②昭和30年頃(右)：大規模なものなどが残るのみ



③現在：約16箇所

②新潟市の湿地の現在 (16の潟)



③新潟市の湿地の特徴

i) 「潟」について

「新潟市潟環境研究所 (H26～H30)」の調査・研究の対象

- 1 越後平野の湖沼のうち、自然的要因により形成されたもの (その後人工的改変を受けたものを含む)
- 2 「1」のほか、暮らしや、文化、生業など、人とのかかわりによって水辺の物質循環が維持されてきたもの

地域が主体的に保全・利活用を行う「潟」が市内に多く分布



「ラムサール条約都市～自然と共生する都市～」を提言 (H29)



「ラムサール条約湿地自治体認証」への申請・認証 (R4)

③ ii) 市内の主な潟



「佐潟クリーンアップ活動」(潟普請)



オオヒシクイ(福島潟周辺)

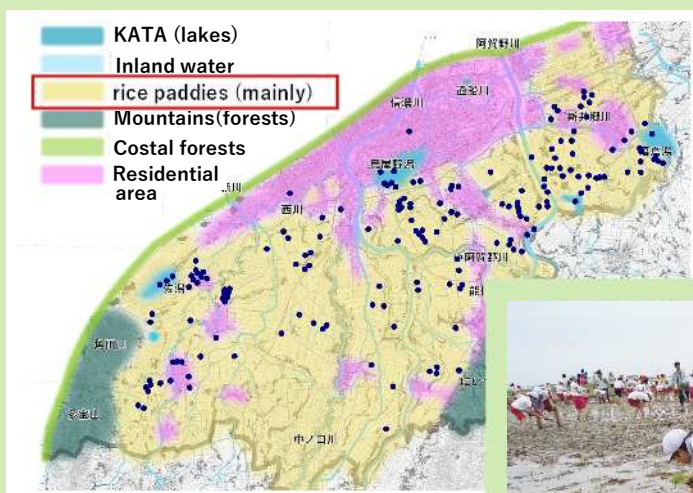


鳥屋野潟と市街地



ミスベリング信濃川やすらぎ堤

④新潟の湿地のネットワーク



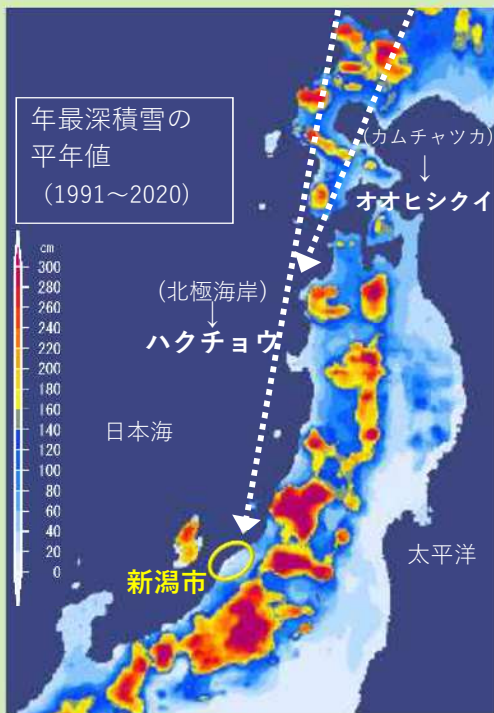
湿地とハクチョウの分布

(青いドットは、平成27年度市民ハクチョウ調査での報告地点)

学校教育田



⑤湿地と渡り鳥 1)



- ・ 海岸にあり、山地から離れている
→ **積雪が少ない**
(年最深積雪(平年) : 32cm)
- ・ 冬季の気温が比較的温和
→ **ねぐらとなる湖沼等が全面凍結しない**
(1月～2月の平均気温(平年) : 2～3°C)

コハクチョウ越冬数
日本一 (市町村別)

オオヒシクイ日本一
の飛来地 (福島潟)



新潟市の鳥
「ハクチョウ」

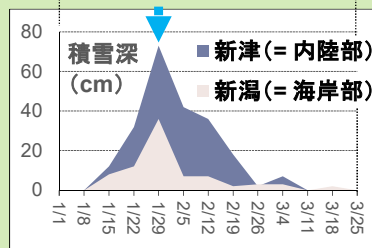
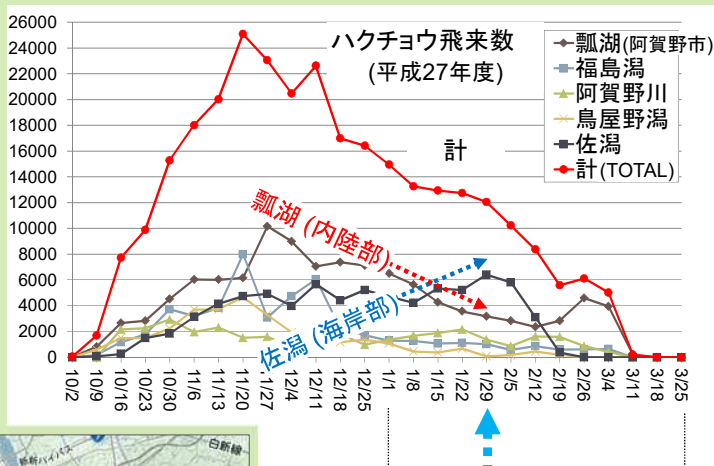


福島潟マスコット
キャラクター「クイクイ」

⑤湿地と渡り鳥 2)

積雪が増加

↓
ハクチョウが
内陸部から海岸部へ
ねぐらを移動



⑥行政の取組み

「里潟研究ネットワーク会議」



～潟のガイドブックの作成と活用～
(各種ガイドブック)



ホームページ「潟のデジタル博物館」



(まちあるき)



(「動く市政教室」ツアー)



2. 認証後の取組み

(1) 令和4年度

毎年2月2日「世界湿地の日」

…国連の定める国際デーの一つ

World Wetlands Day



→2023年2月5日 新潟市

「湿地自治体認証記念シンポジウム」を開催



ズーム & クリック



<https://www.worldwetlandsday.org/events>
「世界湿地の日」イベント一覧
(ラムサール条約HP内)

各イベント案内
→新潟市シンポジウムHPへ

～認証記念シンポジウム～

日時：令和5年2月5日(日)13:30～16:30

①対面(新潟市内) 約230名参加

②YouTube配信

- ・LIVE 約 30名視聴
- ・オンデマンド 現在380名〃

内容

- 基調講演**：
呉地正行氏（ラムサールネットワーク）
- 事例発表**：
原口優子氏（鹿児島県出水市）
- パネルディスカッション**：
呉地正行氏（再）
原口優子氏（再）
大熊孝氏（新潟大学）
中村玲子氏（ラムサールセンター）
佐々木美貴氏（国際湿地保全連合）
澤口晋一氏（新潟国際情報大学）
佐藤安男氏（水鳥湖沼ネットワーク）

ラムサール条約湿地自治体認証記念シンポジウム

これからも世界の
WETLAND CITY NIIGATA
であり続けるために

第1部
「湿地を賢明に利用し、水鳥との共生を目指す水田農業の歩み」
講演者 呉地 正行氏 新潟県佐和田市 農林水産部 農政課 課長補佐
（新潟県）から2016年のラムサール条約湿地認証のきっかけとなった水田農業の歩みについてお話いただきます。

第2部
事例発表「出水～雉と湿地～」
講演者 原口 優子氏 鹿児島県出水市 出水市 環境課 課長補佐
出水市出水町の湿地「出水川」に生息する水鳥の保護と、水田農業の歩みについてお話いただきます。

第3部
パネルディスカッション
水田農業の歩み、水鳥との共生を目指す水田農業の歩みについてお話いただきます。
（コーディネーター）大熊 孝氏 新潟大学 農学部の教授
中村 玲子氏 佐々木 美貴氏 澤口 晋一氏 佐藤 安男氏
（コーディネーター）

日時 2023年2月5日(日) 13:30～16:30(受付12:30～)

会場 ANAクラウンプラザホテル新潟 3階「飛翔」
(新潟市中央区万代5丁目11番20号)
※お席の確保は事前のご予約が必要です。

申込 定員/先着200名 入場無料
新潟市役所コールセンター ☎(025-243-4894)へお申し込みください。
小千谷店 1月12日(木) 全席予約済(13:00～21:00年中継中)

主催 新潟市 協賛 新潟県 後援 新潟県環境政策課 電話 025-226-1359

①基調講演

講師：呉地 正行 氏

（宮城県栗原市在住）

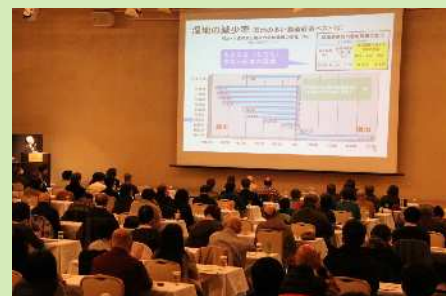
（ラムサール・ネットワーク日本 理事）

（日本雁(が)んを保護する会 会長）

（2022ラムサール賞(ワイズユース部門)受賞）

～主な取組み～

- ・一旦途絶えた日本への鳥の渡りの復元
（シジュウカラガン※ 等）
（※ロシア千島列島 ⇄ 宮城県北部）
- ・冬季湛水水田「ふゆみずたんぼ」の普及
- ・COP10での「水田決議」の主導



②事例発表

発表者：原口 優子 氏

（鹿児島県出水市※ツル博物館

「クレインパークいずみ」主任学芸主事）

（※COP14にて新潟市とともに湿地自治体認証）

（IUCNツル部会専門委員）



～主な取組み～

- ・ ツル越冬地の環境改善、渡りの動向の調査
（韓国スンチョン市との情報共有等）
- ・ ツル越冬地の環境に係る環境教育・講座
開設等



③パネルディスカッション

～主な内容～

- ・ 越後平野の特徴
…地形の成り立ち、ハクチョウ等の自然
- ・ 新潟市里潟研究ネットワークによる提案
…ブランディング事業等
- ・ 総論
…都市と自然の共生
- ・ 今後の展開



（呉地氏、原口氏、中村氏、佐々木氏）



（パネリストおよび新潟市長(参加者席にてコメント中)）



（佐藤氏、澤口氏、大熊氏、伊勢氏(司会)）

～③パネルディスカッション 補足～ (中村玲子氏の紹介)

- ・ 2005年ラムサール賞(教育部門)受賞
- ・ 著書「湿地への招待」「釧路湿原」ほか
- ・ 湿地ツアー企画運営 (インバウンド向け)



2月5日 佐潟観察会 (右が中村氏)



同上 (湖面のハクチョウほか)

海外からのインバウンド観光客に情報提供!
日本の自然と生物多様性の魅力を紹介する
新しい英語版ウェブサイトができました。

日本在住30年のアメリカ人シニアコンサルタントの James McGill
と、日本人で初めてラムサール条約湿地部賞を受賞した中村玲子
日本の自然、人々の暮らし、生きものの面白さを紹介します。

**A new perspective on the
Ramsar sites in Japan by
James and Reiko.**
**An original and innovative
guide to the rich wildlife
and biodiversity of Japan.**



PEOPLE, WETLANDS, WILDLIFE

人と湿地と生きものたち

<https://pwwj.org/>  



Profile of honorees

Reiko Nakamura
Fellow of Ramsar Center Japan (RCJ), a membership-based NGO which has promoted public awareness on wetland conservation and the Ramsar Convention in the Asian region for more than 30 years. The first Japanese person to receive the Ramsar Wetland Conservation Award in 2015.

James McGill
Senior Consultant in INTERN Consulting Inc. During his 30 years' residence in Japan he has specialized in cross-cultural communication and environmental issues. As the head of the Frontier Business Section, his current mission is to explore business opportunities for INTERN Consulting outside of its core JSE base. He was born in Muskogee, Oklahoma in the USA.

Organizers
Daisuke Nakamura (Interpretation & Editing, Project Coordinator), Ramsar Center Japan
James McGill (Interpretation & Translation, WEWJ Consulting, Inc.)
Fumiko Maeno (Public Relation, Wetlands International Japan)
Tatsuro Hatake (Public Relation, Wetlands International Japan)
Yuki Oishi (Public Relation, WEWJ Consulting, Inc.)
Akiko Oishi (Public Relation, WEWJ Consulting, Inc.)



PEOPLE, WETLANDS, WILDLIFE 公式HP

(2) 令和5年度の取組み

～令和5年度新潟市当初予算案～

- 湿地等自然環境保全の推進 (拡充 6,801千円)
 - ① ラムサール条約湿地の佐潟等の里潟の環境保全
 - ② WETLAND CITY NIIGATAとして国内外へ潟の魅力を広く発信

① 佐潟の保全・再生 (水質)



2015年夏 (撮影: 加藤功氏)



2022年夏 (〃)

②-1 ラムサール湿地都市ネットワーク市長会議



第1回会議の様子
(令和元年 韓国スンチョン市)



第2回開催都市アミアンとその湿地
(令和5年6月 写真：仏アミアン提供)



← “WETLAND CITY NETWORK” ロゴ
(17か国43都市で構成)

②-2 潟における地域活動や環境学習の発表・交流事業

～ Thank You ～